

生徒会通信

2022年10月27日 No. 2

ピンクシャツデー運動のシンボルがピンクシャツとなった理由

それは、カナダの学生が起こした行動に由来します。

舞台は2007年、カナダ・ノバスコシア州のハイスクールです。

中学3年生の男子生徒がピンク色のポロシャツを着て登校したことをきっかけに、
ホモセクシャルだとからかわれ暴行を受け、たえきれずに帰宅してしまいました。

その出来事聞いた高校3年生のデイヴィッド氏とトラヴィス氏。

「いじめなんて、もう、うんざりだ!」「アクションを起こそう!」

そう思ったふたりは、その日の放課後、ディスカウントストアへ行き75枚のピンク色のシャツやタンクトップを買いこみました。

そしてその夜、学校の掲示板やメール等を通じてクラスメートたちに呼びかけました。「明日、一緒に学校でピンクシャツを着よう」と。

翌朝、ふたりはピンク色のシャツやタンクトップを入れたビニール袋を手投ししました。学校について校門で配りはじめようとしたふたりの目に映った光景・・・

それはピンクシャツを着た生徒たちが次々と登校してくる姿でした。

ピンクシャツが用意できなかった生徒たちは、リストバンドやリボンなど、ピンク色の小物を身につけて登校してきました。

頭から爪先まで、全身にピンク色をまとった生徒もいました。

ふたりの意思は一夜のうちに広まっていたのです。

11月のいじめ防止強化月間に合わせ、11/15(火)～11/21(月)の1週間、生徒会を中心にピンクバッジ運動を展開します。生徒会全員と先生方で、ピンク色のバッジを身につけて、差別やいじめをなくす強い思いを広げたいと思います!そこで、そのバッジのイラストを皆さんに募集します!!
※1・2年生は各学年の生徒会役員に、3年生は清水先生に右の枠を渡してください。学年・クラス・番号・名前を書くことを忘れないでください。よろしくお願ひします。

(募集期限：10/31(月)まで)

年 組 席 名前 ()

